

※会場がいつもと異なりますのでご注意ください。

(1)南部バイパスより入構し、料金 200 円（各自負担）をお支払い下さい。

(2)先着 50 名様には入構カードを学生が用意しています。200 円と引き換えに領収書と入構券をお受取り下さい。

(3)4 月 1 日(月)より敷地内全面禁煙となりました。

令和元年 5 月 31 日

各 位

軟弱地盤研究会（第 152 回）のご案内

軟弱地盤研究会  
会長 日野剛徳

日 時：令和元年 6 月 26 日（水）14 時～16 時

場 所：佐賀大学本庄キャンパス 理工学部 6 号館 DC 棟 2 階多目的セミナー室  
（佐賀市本庄町 1 電話 0952-28-8612（日野研究室））

話 題：秋田平野に分布する軟弱土の圧密特性の紹介～有明粘土を意識して～

講演者：秋田大学名誉教授／ネクスコ・エンジニアリング東北 技術アドバイザー  
及川 洋 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

秋田平野には一般的な粘土から含水比が 1,000%を越すような高有機質土まで、多種多様な軟弱土が広く分布している。また、これらの軟弱土に対して、その自然含水比のみの測定から  $e\text{-log}p$  曲線および  $\log cv\text{-log}p$  曲線を予測するための計算式が開発されている。今回、この式を有明粘土に適用してみた。結果は良好であったものの、有明粘土独自の予測式の開発も必要であることを提案する。また、その開発に当たっては  $e\text{-log}p$  曲線の予測よりも  $\log f\text{-log}p$  曲線の予測が実用的であることを示す。軟弱地盤の長期沈下については、 $\log t$  に比例するか双曲線的に推移するか、あるいは三次圧密（Tertiary consolidation）に進展するかの簡単な見分け方を紹介する。その他、軟弱地盤改良工法として私案中の空気置換真空圧密工法について紹介する。

※参加希望の方は必ず事前にメールまたは FAX でご連絡ください。当日の申込みはできるだけご遠慮ください。

※参加費：当研究会の個人会員および特別会員は参加費無料。それ以外の方は資料代（¥1,000）が必要です。

※参加証明書は研究会終了後に受付にて必要な方に配布します。

=====

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: [asgt@sagacat.or.jp](mailto:asgt@sagacat.or.jp)

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

Tel:0952-26-1668/Fax:0952-26-1669

〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町 3182

（公財）佐賀県建設技術支援機構内

=====